

平成21年度 春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成21年11月30日(月)に第一ホテル両国において開催された。

この検討会には、試験場関係者13名、委託関係者74名ほか、計99名の参集を得て、除草剤32薬剤(244点)、生

育調節剤2薬剤(9点)、展着剤1薬剤(2点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成21年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-7175粒 DBN:1.2%、 シアナジン:3% [アグ・カネショウ]	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 新中国G研 門司GC (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 対)一任	継	継) ・効果、被害の確認(ノシバ)
	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 門司GC (2)	[スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 対)一任		
	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 新中国G研 門司GC (3)	[一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 ・対)一任		
	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 門司GC (2)	[スギナ] ・芝生育期 雑草発生前 ・8, 10, 12g ・土壌処理 対)一任		
2. BAH-0902 マイクロカブセル ペンテメタリン:45% (w/v) [BASFジャパン]	コウライシバ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・土壌処理 対)ウェイトアップフロアブル 0.5g<200-300>	継	継) ・効果、被害の確認 (コウライシバ、ノシバ、パーミュータグラス)
	ノシバ	作用性 新規	植調研究所 関西G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・土壌処理 対)クワック水和 0.12g<250-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
BAH-0902 マイクロバセル つづき	ハーミュー タガラス	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4, 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・ 土壌処理 対)タフロック水和 0.12g<250-300>		
	コウライシ ハ	適用性 新規	埼玉スタジアム2002 浜松サイトGC (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・ 土壌処理 対)タフロック水和 0.12g<250-300>		
	ノシハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 南長野GC (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・ 土壌処理 対)タフロック水和 0.12g<250-300>		
	ハーミュー タガラス	適用性 新規	静岡G場協会 花屋敷GC (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.5, 0.6, 0.7mL <200-300> ・ 土壌処理 対)タフロック水和 0.12g<250-300>		
3. BEH-5077ロアブル インタシフラム:20% [ハエルクロップサイエンス]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理	実・継 (実の内容は従来どおり) 継)	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.02~0.03mL <200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		
	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		
	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 (梅雨明け後高温期) ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 西日本G研 (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 (梅雨明け後高温期) ・ 0.03mL<200-300> ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. BS-2粒 ベンデメタリン:1.1%、 N:P:K=10:5:5 [エス・ディー・エス ハイオテク]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調研究所 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)テマックス 30g	実 ・ 継	実)[春夏作:(コウライシハ)一年生雑 草(キ科を除く)] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 20~40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 年次変動の確認(コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ) ・ 萌芽期薬害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 西日本G研 (2)	[高温期薬害] ・ 芝生育期 (梅雨明け後高温期) ・ 20, 40, 80g ・ 土壌処理		
5. DAH-07127077 [®] ル プロピザミド:36% [ダウ・ケミカル日本]	コウライシ ハ	適用性 継続	泉ハークタンGC 植調研究所 植調埼玉 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理 対)カーブ水和 0.4g<200-300>	実 ・ 継	実)[春夏作:(コウライシハ、ノシハ) 一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375~0.625mL <200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 継続	泉ハークタンGC 植調研究所 植調埼玉 新中国G研 門司GC (5)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理 対)カーブ水和 0.4g<200-300>		
	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.375, 0.5, 0.625mL <200-300> ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
6. DAH-0808EW シチレール:24% [タウケミカル日本]	コウライシハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 真名CC 関西G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<200-300> ・ 土壌処理 対)デイトロン乳 0.15mL<200-300>	実・継 (実の内容は従来とおり)	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	太平洋C美野里C 真名CC 関西G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<200-300> ・ 土壌処理 対)デイトロン乳 0.15mL<200-300>		[春夏作; (コウライシハ、ノシハ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.2~0.3mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 新規	帯広CC 泉パークタウンGC グランドイ那須GC (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.2mL<200-300> ・ 土壌処理 対)ハイザー水和 0.1g<200-300>		[春夏作; (ケンタッキーブルーグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	コウライシハ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<200> ・ 土壌処理		注) ・ 高温期の使用では葉の濃緑化などがみられる事がある (ケンタッキーブルーグラス)
	ノシハ	作用性 新規	新中国G研 (1)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<200> ・ 土壌処理		・ 萌芽期での使用では葉先が白化する事がある (ケンタッキーブルーグラス)
	ケンタッキー ブルーグラス	作用性 新規	埼玉スタジアム2002 (1)	[萌芽期薬害] ・ 芝萌芽期 ・ 0.1, 0.2mL<200> ・ 土壌処理		継) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ケンタッキーブルーグラス)
7. DH-024顆粒水和 フルボキサム:50% [日本曹達]	ハーマー ミュータグラス	適用性 継続	浜松シーバトGC 花屋敷GC 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ・ 土壌処理 対)ウエイアップ FL 0.6g<200-300>	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ、ハーマーミュータグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.15~0.3g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ハーマー ミュータグラス	作用性 新規	浜松シーバトGC 花屋敷GC (2)	[倍量薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3g<200> 0.6g<400> 1.2g<800> ・ 土壌処理		継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーミュータグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーミュータグラス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーミュータグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーミュータグラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
8. GG-155顆粒水和 イマゾスルフロン:75% [日本ク ^レ リアント ^カ ー デ ^ン]	コウライシ ハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g<200～300> ・ 土壌処理 対)イン ^バ ー ^ル DF 0.03g<200～300>	継	継) ・ 効果、被害の確認
	コウライシ ハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g<200～300> ・ 土壌処理 対)イン ^バ ー ^ル DF 0.03g<200～300>		
	ハシハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g<200～300> ・ 土壌処理 対)イン ^バ ー ^ル DF 0.03g<200～300>		
	ハシハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.1, 0.15, 0.2g<200～300> ・ 土壌処理 対)イン ^バ ー ^ル DF 0.03g<200～300>		
9. GG-180粒 シアナジン:1%, DBN:0.5% [日本ク ^レ リアント ^カ ー デ ^ン]	コウライシ ハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 関西G研 鳥取園試 新中国G研 (5)	[多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)ベン ^バ ー ^ル 粒 15g	実・ 継	実) [春夏作; (コウライシ ^ハ) 一年生雑 草、多年生広葉雑草、スギ ^ナ] ・ 芝生育期、 雑草発生前～初期 ・ 20～40g/m ² ・ 土壌処理 注) ・ 高温期での処理は芝に被害を生 じることがある 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシ ^ハ) ・ 連用試験での確認(コウライシ ^ハ) ・ 実証試験での確認(コウライシ ^ハ)
	コウライシ ハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 真名CC 新中国G研 (3)	[スギ ^ナ] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)ベン ^バ ー ^ル 粒 15g		
10. GG-181粒 シアナジン:1%、 DBN:0.5%、 N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本ク ^レ リアント ^カ ー デ ^ン]	コウライシ ハ ^バ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)テマ ^バ ックス粒剤 30g	実・ 継 (実の内容は従来どおり)	実) [春夏作; (コウライシ ^ハ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～初期 ・ 20～40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシ ^ハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシ ^ハ) ・ 連用試験での確認(コウライシ ^ハ) ・ 実証試験での確認(コウライシ ^ハ)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
11. GG-182粒 シアナジン:1%、 メコフ ロップ Pカリウム塩:1% [日本ケミカル・アント・カ ーテン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[多年生広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 ・ 対)ベンボール粒剤 15g	実・継 (実の内容は従来どおり)	実) [春夏作; (コウライシハ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～初期 ・ 20～40g/m ² ・ 土壌処理 注) ・ 高温期での処理は芝に葉害を生 じることがある
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[スギナ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)ベンボール粒剤 15g		継) ・ 多年生広葉雑草およびスギナに対 する効果の確認(コウライシハ) ・ 倍量葉害試験での確認 (コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
12. GG-191粒 トリアシブラム:0.1%、 DBN:0.5%、 N:P:K:Mg=11:8:7:3 [日本ケミカル・アント・カ ーテン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 20, 30, 40g ・ 土壌処理 対)テマックス粒 30g	実・継 (実の内容は従来どおり)	実) [春夏作; (コウライシハ)一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前～発生初期 ・ 20～40g/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシハ) ・ 連用試験での確認(コウライシハ) ・ 実証試験での確認(コウライシハ)
13. HPW-1037ロアブル オリザリン:15% [保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉バークタウGC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 西日本G研 (6)	[一年生雑草(キ科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.6, 0.8mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サーフン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ)一年生 雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.6～0.8mL<200～300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	泉バークタウGC グランドイー那須GC 東日本G研 植調埼玉 関西G研 新中国G研 (6)	[一年生雑草(キ科除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.6, 0.8mL<200-300mL>/m ² ・ 土壌処理 ・ 展着剤不要 対) サーフン80顆粒 0.1g<200-300mL>/m ²		継) ・ 年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量葉害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ)
14. HPW-104液 アシュラム:0.2% [保土谷UPL]	コウライシ ハ	適用性 新規	泉バークタウGC 東日本G研 埼玉スタジアム2002 植調埼玉 関西G研 新中国G研 (6)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草生育期(草丈10cm以下) ・ 75, 100, 150mL ＜希釈せずそのまま散布＞ ・ 茎葉処理 対) アシュラム液 0.9mL<200～300>	実・継	実) [春夏作; (コウライシハ)一年生雑 草] ・ 芝生育期 雑草生育期(草丈10cm以下) ・ 100mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞ ・ 茎葉処理 注) ・ 一時的に葉が黄化することがあ る 継) ・ 年次変動の確認(コウライシハ)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈〉は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判 定	判定内容
15. HW-013液 MCPPカリウム:0.25% 〔日本ク・リンアント・カ・ デ・ン〕	ケンタッキー フ・ル・グ ラス	適用性 新規	泉バークタウNG グランド・イ那須GC 東日本G研 (3)	[一年生広葉雑草、スギナ] ・芝生育期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・100, 150, 200mL 〈希釈せずそのまま散布〉 ・茎葉処理 対) MCPP液 500mL<200~300L>/10a	実・継 (実の内容は従来どおり)	実) [春夏作;(コウライシハ)一年生広葉雑 草] ・芝生育期 雑草生育期 ・100~200mL/m ² 〈希釈せずそのまま散布〉 ・茎葉処理 継) ・効果、薬害の確認(ケンタッキーフ・ル・グ ラス) ・倍量薬害での確認(コウライシハ、ケン タッキーフ・ル・グ・ラス) ・高温期薬害の確認(コウライシハ、ケン タッキーフ・ル・グ・ラス)
16. KUH-079顆粒水和 ヒ・リスルファン:50% 〔クミアイ化学工業〕	ケンタッキー フ・ル・グ ラス	適用性 新規	東日本G研 宇都宮大学 (2)	[広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.02, 0.03, 0.04g 〈100~200〉 ・茎葉処理 対) フ・ロート・スマッシュSC 0.03g<100~200〉	実・継 (実の内容は従来どおり)	実) [春夏作;(コウライシハ)一年生広 葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.04g 〈水量100~200mL>/m ² ・茎葉処理 継) ・効果、薬害の確認(ケンタッキーフ・ル・グ ラス) ・低薬量(0.02g)での効果の確認 (コウライシハ) ・多年生広葉雑草への効果の確認 (コウライシハ) ・倍量薬害での確認 (コウライシハ、ケンタッキーフ・ル・グ・ラス) ・連用試験での確認 (コウライシハ、ケンタッキーフ・ル・グ・ラス) ・実証試験での確認 (コウライシハ、ケンタッキーフ・ル・グ・ラス) ・萌芽期薬害の確認 (コウライシハ、ケンタッキーフ・ル・グ・ラス) ・高温期薬害の確認 (コウライシハ、ケンタッキーフ・ル・グ・ラス)
17. MAH-08027ロアブ・ル 既知化合物:35% 〔マクデシム・ア・カ・ン・シ・ヤ・ハ ン〕	コウライシ ハ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4, 0.6, 0.8, 1.0mL 〈200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任	継	継) ・効果、薬害の確認(コウライシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.4, 0.6, 0.8, 1.0mL 〈200~300mL>/m ² ・土壌処理 対) 一任		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
18. MBH-021液 新規化合物:21.2% [丸和ハ ^イ イカミル]	コウライシ ハ ^イ	作用性 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	[一年生広葉雑草、多年生広葉雑 草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.01, 0.02, 0.03, 0.04mL <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) MCP液 0.5mL<200>	継	継) ・ 効果、薬害の確認(コウライシハ ^イ)
	コウライシ ハ ^イ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.015, 0.02, 0.03mL <200-300mL>/m ² ・ 茎葉処理 対) MCP液 0.5mL<200>		
19. MBH-083顆粒水溶 硫酸第一鉄:48% [丸和ハ ^イ イカミル]	ヘ ^{ント} グ ^ラ ス	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[コ ^ク 類] ① 芝生育期、コ ^ク 生育期(単用) ・ 15, 20g<500, 1000> ・ 茎葉処理 ② 芝生育期、コ ^ク 生育期 (2回処理) ・ 15→15g<500-1000> ・ 茎葉処理 対) タスDF 0.06→0.06g<100-200>	実 ・ 継	実) [春夏作; (ヘ ^{ント} グ ^ラ ス)コ ^ク 類] 単用処理; ・ 芝生育期、コ ^ク 生育期 ・ 15→20g<500~1000mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 反復処理(2回処理); ・ 芝生育期、コ ^ク 生育期 ・ 15g<500~1000mL>/m ² (散布間隔は2~3週間を目安と する) ・ 茎葉兼土壌処理 注) ・ 一時的に葉が黒ずむことがある 継) ・ 年次変動の確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス) ・ 倍量薬害での確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス) ・ 連用処理での薬害の確認 (ヘ ^{ント} グ ^ラ ス)
20. MBH-084水和 ジ ^ラ ム:75% [丸和ハ ^イ イカミル]	ヘ ^{ント} グ ^ラ ス	適用性 継続	東日本G研(2) 関西G研 新中国G研 西日本G研 (4)	[藻類] ① 芝生育期、藻類生育期(単用) ・ 3.0g<200~300> ・ 茎葉兼土壌処理 ② 芝生育期、藻類生育期 (2回処理) ・ 2.0g→2.0g<200~300> ・ 茎葉兼土壌処理 対) コ ^ー レット水和 2.0g→2.0g<1000>	実 ・ 継	実) [(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス)藻類] 単用処理; ・ 芝生育期、藻類生育期 ・ 3g<200~300mL>/m ² ・ 茎葉兼土壌処理 反復処理(2回処理); ・ 芝生育期、藻類生育期 ・ 2g<200~300mL>/m ² (散布間隔は2週間を目安とす る) ・ 茎葉兼土壌処理 継) ・ 倍量薬害での確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス) ・ 連用試験での確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス) ・ 実証試験での確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス) ・ 高温期薬害の確認(ヘ ^{ント} グ ^ラ ス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
21. NHK-0617ロアフル ビラフルフェニエチル:2.0% [日本農業]	ベントグ ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草生育期(分けつ前まで) ①単用処理; ・ 0.2, 0.4, 0.6mL<100-200> ②反復処理(2回); ・ 0.4→0.4mL<100-200>. ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (3)	[多年生広葉雑草(チトメグサ、チコグ サ類)] ・ 芝生育期、 雑草生育期(分けつ前まで) ①単用処理; ・ 0.2, 0.4, 0.6mL<100-200> ②反復処理(2回); ・ 0.4→0.4mL<100-200> ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス)
22. NP-647ロアフル ベントキサゾン:20% [日本曹達]	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (5)	[コキ類] ・ 芝生育期、コキ生育期 ・ 0.3, 0.5mL<100~200> ・ 茎葉処理 対)タシDF 0.045g<100-200>	継	継) ・ 効果、薬害の確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (5)	[コキ類] ・ 芝生育期、コキ生育期 ・ 0.3, 0.5mL<100~200> ・ 茎葉処理 対)タシDF 0.045g<100-200>		
	ベントグ ラス	作用性 新規	新中国G研 (1)	[コキ類] ・ 芝生育期 ・ 0.3, 0.5, 0.75, 1.0mL <100~200> ・ 3~5月まで月1回 ・ 茎葉処理 対)タシDF 0.045g<100-200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
23. SAH-001乳 メタホッフ:10% [丸和ハ [®] イオキカル, 住商 アグロインターナショナル]	ノシハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[メシハ [®] , ホシハ [®]] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100~200> ・ 茎葉処理	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ [®] , ノシハ [®]) 一年 生イネ科] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.1~0.3mL<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 ・ 効果の確認された草種; メシハ [®] , ホシハ [®]
	ケンタッキー ブルーグラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パークタウンGC 東日本G研 新中国G研 (4)	[メシハ [®]] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100~200> ・ 茎葉処理		[春夏作; (ヘントグラス, ケンタッキーブルー グラス, ライグラス) メシハ [®]] ・ 芝生育期、 雑草生育期 ・ 0.1~0.3mL<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理
	ライグラス	適用性 継続	札幌国際CC 泉パークタウンGC 東日本G研 新中国G研 (4)	[メシハ [®]] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 0.1, 0.2, 0.3mL<100~200> ・ 茎葉処理		継) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ [®] , ノシハ [®] , ケンタッキーブルーグ ラス, ライグラス) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ [®] , ノシハ [®] , ヘントグラス, ケンタ ッキーブルーグラス, ライグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ [®] , ノシハ [®] , ヘントグラス, ケンタ ッキーブルーグラス, ライグラス)
24. SB-201乳 新規化合物:25% [エス・ディー・エス ハ [®] イオテッ ク]	ヘントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 真名CC 関西G研 新中国G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL <200~300> ・ 土壌処理 対) テュバ [®] ン 1.5g<200~300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (ヘントグラス)
25. SB-3651顆粒水和 テトラヒゾフロトリル:50%、 チクナム:30% [エス・ディー・エス ハ [®] イオテッ ク]	ヘントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[藻類] ・ 芝生育期 藻類発生前 ・ 1, 2g<500> (2回反復処理*) *2回目は1回目の2週間後に 散布 2g<500> (単用処理) ・ 土壌処理 対) グ [®] コニルターフ 1mL<1000>	継	継) ・ 効果、薬害の確認 (ヘントグラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
26. SB-5521顆粒水和 ベンデメタリン:53% [エス・ディー・エス ハートテック]	ハートミュー ダグラス	適用性 継続	東日本G研 浜松ササト GC (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3, 0.45, 0.6g<200-300> ・ 土壌処理 対) ウェイアップ 0.6g<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ、ハ ートミューダグラス) 一年生雑草(キ 科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.3~0.6g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 継) ・ 倍量薬害試験での確認 (ハートミューダグラス) ・ 連用薬害試験での確認 (ハートミューダグラス) ・ 実証試験での確認 (ハートミューダグラス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハートミューダグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハートミューダグラス)
27. SL-160顆粒水和 フラスノロン:25% [石原産業]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 浜松ササト GC 関西G研 (3)	[スズメノヒレ類] ・ 芝生育期 雑草発生初期(株径15cm以下) ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.05g<150-200>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ、ハートミュー ダグラス) 一年生雑草、多年生広 葉雑草、ヒメグサ] ・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.01~0.03g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 注) ・ 展着剤を加用する ・ 萌芽期での処理では芝に薬 害を生じる事がある (コウライシハ、ノシハ) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ、ハートミュー ダグラス) ハマダグ]
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 浜松ササト GC 新中国G研 (3)	[スズメノヒレ類] ・ 芝生育期 雑草発生初期(株径15cm以下) ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.05g<150-200>		・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.02~0.04g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 注) ・ 展着剤を加用する ・ 萌芽期での処理では芝に薬 害を生じる事がある (コウライシハ、ノシハ)
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 新中国G研 (3)	[チカヤ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.05g<150-200>		・ 芝生育期、 雑草発生初期 ・ 0.02~0.04g<100~200mL>/m ² ・ 茎葉処理 注) ・ 展着剤を加用する ・ 萌芽期での処理では芝に薬 害を生じる事がある (コウライシハ、ノシハ)
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 関西G研 (3)	[チカヤ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.05g<150-200>		継) ・ スズメノヒレ類、チカヤに対する効 果の確認(コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハートミューダグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハートミューダグラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハートミューダグラス)
	ハートミュー ダグラス	適用性 継続	関西G研 新中国G研 (2)	[ハマダグ] ・ 芝生育期 雑草発生初期 ・ 0.02, 0.03, 0.04g<100-200> ・ 茎葉処理 対) シバゲン水和 0.05g<150-200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/㎡ ・ 処理方法	判 定	判定内容
28. SYJ-111乳 S-メトラクロール:83.7% [シンシエンタ ジャパン]	コウライシ ハ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.35, 0.4mL ・ <200-300> ・ 土壌処理 対)テュアル乳 0.7mL<200-300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ、ノシハ)一 年生雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.25~0.4mL<200-300mL>/㎡ ・ 土壌処理 継) ・ 効果、薬害の確認 (ハーマーグクラス) ・ 0.4mL/㎡処理での年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーグクラス) ・ 連用薬害試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーグクラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーグクラス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーグクラス) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ハーマーグクラス)
	ノシハ	適用性 継続	格蘭デイ那須GC 東日本G研 新中国G研 (3)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.35, 0.4mL ・ <200-300> ・ 土壌処理 対)テュアル乳 0.7mL<200-300>		
	ハーマー グクラス	適用性 新規	東日本G研 浜松シーイトGC 関西G研 新中国G研 (4)	[一年生雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.25, 0.3, 0.4mL ・ <200-300> ・ 土壌処理 対)テュアル乳 0.7mL<200-300>		
	コウライシ ハ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300> ・ 土壌処理		
	ノシハ	作用性 新規	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300> ・ 土壌処理		
	ハーマー グクラス	作用性 新規	浜松シーイトGC 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.4mL<200-300> ・ 土壌処理		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/m ² ・処理方法	判定	判定内容
29. SYJ-1947ロアフル プロシアン:40.7% 〔シンジエンタ ジャパン〕	ベントグ ラス	適用性 新規	帯広CC 泉パークタウンGC 東日本G研 静岡G場協会 関西G研 新中国G研 (6)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.18, 0.26mL <200-300> ・土壌処理 対)クワロック水和 0.12g<200-300>	実・ 継	実) [春夏作; (コウライシバ、ノシバ、ハ ーミューダグラス)一年生雑草(キ 科除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.125~0.25mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 [春夏作; (ベントグラス)一年生イネ科 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.1~0.26mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理 注) ・ベントグリーンでは黄化などの薬害 を生じることがある
	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 新規	帯広CC 泉パークタウンGC 格蘭ディ那須GC 東日本G研 埼玉スタジアム2002 新中国G研 (6)	[一年生雑草(キ科を除く)] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.1, 0.18, 0.26mL <200-300> ・土壌処理 対)クワロック水和 0.12g<200-300>		
	コウライシ バ	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300> ・土壌処理		[春夏作; (ケンタッキーブルーグラス)一年 生雑草(キ科除く)] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.1~0.26mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理
	ケンタッキー ブルーグ ラス	作用性 新規	格蘭ディ那須GC 新中国G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300> ・土壌処理		継) ・年次変動の確認 (ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ハーミューダグラス) ・連用薬害試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッ キーブルーグラス、ハーミューダグラス) ・実証試験での確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッ キーブルーグラス、ハーミューダグラス) ・萌芽期薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッ キーブルーグラス、ハーミューダグラス) ・高温期薬害の確認 (コウライシバ、ノシバ、ベントグラス、ケンタッ キーブルーグラス、ハーミューダグラス)
	ハーミュー ダグラス	作用性 継続	新中国G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] ・芝生育期 雑草発生前 ・0.26mL<200-300> ・土壌処理		
30. SYJ-214水和 フルシネズン:50% 〔シンジエンタ ジャパン〕	ベントグ ラス	適用性 継続	泉パークタウンGC 東日本G研 太平洋C美野里C 真名CC 関西G研 新中国G研 (6)	[藻類] ・芝生育期 藻類発生初期 ・0.2→0.2g<500>, 0.4→0.4g<500> ・茎葉処理 対)コレット水和 2g<1000>	実・ 継	実) [(ベントグラス)藻類] 反復処理(2回処理); ・芝生育期 藻類発生初期 ・0.2~0.4g<500mL>/m ² (散布間隔は2週間程度を目安と する) ・茎葉処理 継) ・倍量薬害での確認(ベントグラス) ・連用薬害での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス) ・高温期薬害の確認(ベントグラス)

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
31. TH-913H4 フロアフル イマゾスルフロン:40% [日本グリーンアントカー デーン]	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 花屋敷GC 新中国G研 (4)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL<200~300> ・ 土壌処理 対)インプーLDF 0.03g<200~300>	実 ・ 継	実) [春夏作; (コウライシハ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生前 ・ 0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシハ、ノシハ、ベントグ ラス、ケンタッキーブルーグラス)一年生広葉 雑草、ヒメカサ] ・ 芝生育期、 雑草発初期(3葉期まで) ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理 [春夏作; (コウライシハ)チトメタツ類] ・ 芝生育期、雑草発初期 ・ 0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理
	ノシハ	適用性 新規	東日本G研 植調埼玉 花屋敷GC 新中国G研 (4)	[広葉雑草] ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2, 0.3, 0.4mL<200~300> ・ 土壌処理 対)インプーLDF 0.03g<200~300>	継	・ 多年生広葉雑草に対する効果の 確認(コウライシハ、ノシハ、ベントグ ラス) ・ 発生前処理での効果、葉害の確 認(ノシハ) ・ 発生前処理での年次変動の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 倍量薬害試験での確認 (ベントグラス) ・ 連用試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグ ラス、ケ ンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグ ラス、ケ ンタッキーブルーグラス) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシハ、ノシハ、ベントグ ラス、ケン タッキーブルーグラス)
32. エントタル液 エントタル2トリウム塩 :1.85% [三井化学アグロ]	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	[スミレノカタビラ] ・ 芝生育期 雑草生育期 ・ 1.0, 1.5, 2.0mL<100> ①2週間おき3回処理 ②2週間おき6回処理 ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、葉害の確認(ベントグ ラス)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. BES-004液 エチホン:21% [ハ・イエムクロップサイエンス]	ベントグ ラス	適用性 継続	<帯広CC> 太平洋C美野里C <真名CC> 関西G研 (4)	[ス ^ス メノカビ ^ラ 出穂抑制] ・ 芝生育期 ス ^ス メノカビ ^ラ 出穂前 ・ 1mL→1mL→1mL/m ² (3回処理)、 1.5mL→1.5mL→1.5mL/m ² (3回処理) ・ 散布水量 100～200mL/m ² ・ 1回目の散布時期は出穂約1ヶ 月前、散布間隔は約1か月 ・ 茎葉処理	継	継) ・ 効果、被害の確認(ベントグ ^{ラス} 、ク タッキー ^ブ ルーグ ^{ラス})
	クンタッキー ブ ^ブ ルーグ ^{ラス}	適用性 新規	<帯広CC> 泉バ ^ク タ ^ン GC グ ^ラ ンデ ^イ 那須GC 東日本G研 (4)	[ス ^ス メノカビ ^ラ 出穂抑制] ・ 芝生育期 ス ^ス メノカビ ^ラ 出穂前 ・ 1mL→1mL→1mL/m ² (3回処理)、 1.5mL→1.5mL→1.5mL/m ² (3回処理) ・ 散布水量 100～200mL/m ² ・ 1回目の散布時期は出穂約1ヶ 月前、散布間隔は約1か月 ・ 茎葉処理		
2. CB-201 ME 既知化合物:11.1% [CBC]	コウライシ バ	適用性 新規 (H20)	鳥取園試 (1)	[生育抑制による刈込軽減] ・ 芝生育期(5月中～6月下旬) ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<50> ・ 0.05, 0.075, 0.15mL<100> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<150> ・ 0.05, 0.1, 0.2mL<200> ・ 茎葉処理 対)ブ ^リ マックス液 0.1mL<150～200>	継	継) ・ 効果、被害の確認

C. 展着剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/m ² ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. BS-240液 ホ ^リ オキシアルキレンオキシ ^フ ロ ビ ^ル ヘ ^フ タメチルトリシロキシ ン:80%、 ホ ^リ オキシアルキレン ^フ ロ ^ヘ ニル エーテル:20% [エホ ^ニ ック・デ ^ク サ ^シ ヤ ハ ^ン]	ノシバ	適用性 新規	植調研究所 新中国G研 (2)	[一年生広葉雑草、シロツメクサ] ・ 芝生育期、雑草生育期 ①MCPP液0.5mL+本剤10000倍希釈 <100～200mL> ②MCPP液0.5mL+本剤3000倍希釈 <100～200mL> ③MCPP液1.0mL+本剤3000倍希釈 <100～200mL> ④MCPP液1.0mL+本剤1500倍希釈 <100～200mL>;倍量葉害区 対) MCPP液(単用) 0.5, 1.0mL<100～200mL>	一	[春夏作;(ノシバ)] ・ 芝生育期、雑草生育期 ・ MCPP液0.5～1.0mL <100～200mL>/m ² に加用 ・ 本剤3000～10000倍希釈 ・ 茎葉処理